

「めざせ！野さいづくり名人になろう」

季節を問わず売られている野菜ですが、その中でも「旬」の野菜があることを知りました。旬の野菜は、栄養価が高いことを栄養教諭の松本先生に教えていただきました。夏に収穫でき、1人ずつの小さな鉢で育てられる野菜は何があるのか、本を使って調べ、その中で育ててみたい野菜の苗を植えました。

「1年生の時に育てたアサガオやチューリップは、種や球根になり、命をつないでいくけれど、野菜はどこに種がなるのかな。」と、子どもたちは疑問に思ったようです。これから、野菜の実がなり、収穫し、おいしくいただいでいく中で、その疑問が解決していくのだと思います。命をいただきながら私たちが生きている

ことを、野菜作りを通して学んでほしいと思っています。



5年生 総合的な学習の時間

「バケツ稲を育てよう」3年担任 幅さやか

6月に入り、バケツ稲作りが始まりました。まずは土づくり。『土にもいろんな色があるんだね。』『だんだんふわふわしてきたよ。』と、直接手で触れることで土の感触が変わっていくのを感じ取る声があがってきました。また、宮城県角田市の農家の方に来ていただき、バケツ稲への田植えの方法を教してもらいました。小さな小さな苗ですが、バケツ3個分を合わせるとお茶碗一膳分のご飯になるそうです。「自然の力」を感じながら、同時に「食の大切さ」についても考えられる学習にしていけたらと思っています。

3年生の図工の時間 「春のスケッチ」から

図工 鈴木陽子

図工の時間に五本木の森を体全体で感じました。小さな紙にいくつもスケッチをして、見たこと、感じたこと、想像したことを、水彩絵の具で描いていきました。木々の柔らかな緑、土のにおい、生き物たちのにぎわい、風、木洩れ日、空、都会の小さな森ですが、五本木の森は子どもたちが身近に自然を感じることでできるすてきな場です。

3年生Y.Hさんの作品と作品のコメントです。題名「またあえたね」「生き物がみんな太陽のシャワーをあびています。葉っぱは光をあびているようなイメージで色をぬりました。まわりの色は図工室のテラスに出て、目をとじるとうかんできた色です。うしろの方にはタンポポのわたげがとんでいます。わたげのたねも気もちよさそうです。光の中にある点々は、葉っぱや花びらをイメージしています。風がふいて鳥がすずしそうです。空には雲ひとつなく、きれいな青空です。」

今年も新しい春をむかえられ、たくさんのいのちに出会えたことの喜びが「またあえたね」というタイトルからも伝わってきます。季節が巡り、日常の当たり前の生活を来年も、未来にもずっとつなげていきたいです。昨年の日本の二酸化炭素濃度は、過去最高の濃度だそうです。今私たち一人一人ができることは何かを問いながら、子どもたちと一緒に考えていきます。



3年 Y.H 「またあえたね」

いいこといいもの ずっと つながる

平成30年度目黒区立五本木小学校
ユネスコスクールだより 春号
平成30年6月18日
「いのちのバトンをつなぐユネスコスクールの子」
<http://www.meguro.ed.jp/meghngch/>

ユネスコスクール五本木

副校長 高橋 圭介



このマークをご存じですか。このマークは、「ユネスコスクール」に認定された学校が使用できるものです。五本木小学校は、平成22年にユネスコスクールに認定され、8年間がたとうとしています。

「ユネスコスクールってどんなことをするのですか。」私は保護者の皆様から何度も聞かれた質問です。ユネスコスクールはユネスコが推奨するESD（持続可能な開発のための教育）を行う学校です。それでも理解しにくいと思います。そこで、年に4回ユネスコスクールだよりを発行し、子どもたちの活動をお伝えすることにしました。

お読みになった感想を聞かせていただければ幸いです。

つながりを大切に。

ユネスコスクール委員会担当 齋藤 有加理

平成30年度。新しいメンバーでスタートしたユネスコスクール委員会。早速校内に設置されているユネスコ協会にお邪魔し、協会スタッフの宮下さんと今年度の取り組みについて話し合いました。「前年度もやっていたフォレストニュースは絶対に続けていきたい!」「はがきの回収キャンペーンも年に2回実施できないだろうか?」「環境について、エコ活動も大切。」「小さなことでも続けていこう。」と、最初は緊張した面持ちの児童も少しずつ思いが言葉に表れてきました。こうした委員会活動だけでなく、五本木小では教職員、保護者、地域が五本木小学校の『いいこと』や『いいもの』をつなげていくため環境や設備も含め、ひとつながりになる教育活動を心がけ実践しています。今後、ユネスコスクールだより“いいこと いいもの ずっとつながる”を通して子どもの姿、学校の姿をリアルタイムで発信していきます。子どもの気付きや発想、思いや願いに大人の私たちも寄り添い、よりよい五本木小学校をつないでいけたらと思います。